

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-2-2		事業名	障がい者施設等に対する発注機会の拡大			
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課 成澤、多田 211-2936						
全体計画							
事業内容	障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等の発注機会の拡大やPRを行うとともに、企業の障がい者雇用を促す取組を推進していく。			<年度別の事業内容>			
				・19年度 障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等の庁内PR ・20～22年度 各年度で、障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等のPRを引き続き実施するとともに、市役所内で一定数量発注する仕組みを検討し、実施			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等の庁内PR			障がい者施設等で製作された製品や受注可能な役務サービス等の庁内PRとともに、地方自治法の改正により、随意契約できる範囲が拡大された*ことを踏まえて、市役所内で一定数量発注していくための仕組みの検討を進める。 *障がい者支援施設からの物品購入に加え、役務の提供が追加			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
市各部署での障がい者施設などに対する発注量		-	庁内PR	年度末までに状況把握	年度末までに目標設定	全発注量の1.8%	全発注量の1.8%
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加  企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		3-2-2		事業名	障がい者施設等に対する発注機会の拡大		
評価(成果)				課題			
元気ショップをはじめとした取組により、障がいのある方が製作する製品などが認知され出している。				今後、民間に先立ちまずは市役所が率先し、障がい者施設等への発注機会を拡大していく必要があると考えている。そのためには、各部局への協力要請という形ではなく、一定数量の発注が確保されるような仕組みを確立していきたいと考えている。			
今後の事業の予定・方向							
随意契約できる範囲が拡大された*ことを踏まえて、まずは市役所が一定数量、障がい者施設に発注していく仕組みを確立し、民間企業等に広げていきたいと考えている。 *障がい者支援施設からの物品購入に加え、役務の提供が追加							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	-	-	-	-	-	
	財源内訳	国・道支出金					
		市債					
		その他					
予算	事業費	0	0	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体) 現段階で差異はない [19年度]  [20年度]							